

2017年度シラバス

開講時期	1年次通期		開講区分	留学生
科目名称	比較文化			
担当講師	津山隆雄		補助講師	なし
開講曜日	木		時限	1
単位数	4		週時間 (45分)	2
取得を目指す資格	必須	特になし		
	推奨			
授業概要	<p>本授業では、主として読解・小論文作成・漢字練習（主に読み方）に取り組みます。教材を読み、考え、小論文を書くことを通して、日本人のものの見方や考え方を、自分の言葉で表現します。この過程で漢字の習得にも努めます。</p> <p>1年間に様々な分野の文書に触れることで、自国の文化の特徴を知り、日本文化についての理解を深めることができます。</p>			
授業計画	4月	「比較文化」の学び方と授業の進め方について理解します。		
	5月	小論文の書き方について（400～500字）。所定原稿用紙の使い方や実際の書き方について学習します。		
	6月	教材を用いて、日本人のものの見方や考え方を学びます。それらの見方や考え方に対して、自分自身の意見・感想を持つように努めます。そこから小論文へとつなげます。		
	7月			
	8月	夏休み		
	9月	文章を書き続けることで語彙を増やし言葉の使い方が分かり自分の考えを表現する方法が分かってきます。		
	10月	書き切る経験を積むことで、書くことへの自身を深めます。		
	11月	日本の習慣（年賀状の作成）を体験します。		
	12月	敬語の意義を理解し実際の使い方を学びます。		
	1月	1年間の学習を振り返って、現在の日本語の能力を確かめます。読解、聴解、小論文作成能力、漢字練習の成果等自己点検することになります。		
	2月			
	3月	春休み		
使用するテキスト	教材（資料）は担当教員が準備します。学生は丁寧に保管するように心掛けてください。復習・前期・後期試験の時に大いに役立つこととなります。			
成績評価	出席率70%以上・授業態度・漢字テスト・提出物・前期後期試験などにより総合的に判断して、50点以上を合格します。			
講師からのメッセージ	<p>比較文化では、「読むこと」「書くこと」を大切にして、自分の考えを構築していくことが目標です。小論文として形にしていきます。コミュニケーション論での「話す」「聞く」活動を活かし、自分の考えを表現することも視野に入れています。このことが小論文を書くときに生きてきます。それは自国の文化理解にも繋がるのです。</p>			